

平成28年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	富山県		市町村類型	- 3		指定団体等の指定状況		区分		平成28年度(千円)	平成27年度(千円)	区分		平成28年度(千円・%)	平成27年度(千円・%)
						財政健全化等	×	歳入総額	45,245,907	43,180,976	実質収支比率	4.0	4.4		
市町村名	射水市		地方交付税種地	1-4		財源超過	×	歳出総額	43,833,089	41,409,840	経常収支比率	88.2	86.6		
						首都	×	歳入歳出差引	1,412,818	1,771,136	(1)	(93.7)	(93.3)		
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	429,933	680,766	標準財政規模	24,734,684	24,734,025		
人口	27年国調(人)	92,308	産業構造 (5)		中部		実質収支	982,885	1,090,370	財政力指数	0.64	0.65			
	22年国調(人)	93,588			過疎	×	単年度収支	-107,485	277,985	公債費負担比率	20.8	20.2			
	増減率 (%)	-1.4			山振	×	積立金	8,453	312,094	健全化判断比率					
住民基本台帳人口 (7)	29.01.01(人)	93,934	区分	27年国調	22年国調	低開発	×	繰上償還金	628,759	336,017	実質赤字比率	-	-		
	うち日本人(人)	91,891		1,099	1,134	指数表選定		積立金取崩し額	200,000	101,500	連結実質赤字比率	-	-		
	28.01.01(人)	94,301	第1次	2.4	2.5	基準財政収入額		実質単年度収支	329,727	824,596	実質公債費比率	10.7	11.8		
	うち日本人(人)	92,408		14,449	14,900		基準財政需要額	12,089,912	11,481,946	資金不足比率 (4)					
	増減率 (%)	-0.4		31.4	32.4		標準税収入額等	18,815,320	18,050,437	将来負担比率	102.6	104.7			
うち日本人(%)	-0.6	30,472	30,021	経常経費充当一般財源等	15,413,411		14,596,744								
面積 (km ²)	109.43	66.2	65.2	歳入一般財源等	22,352,186		22,612,652								
人口密度 (人/km ²)	844					地方債現在高	61,314,051	59,668,398	特別職等	うち公的資金	48,516,534	47,796,225			
世帯数 (世帯)	32,115					債務負担行為額 (支出予定額)	5,273,414	6,799,971		収益事業収入	-	-			
職員の状況						土地開発基金現在高	-	-		積立金現在高	787,538	787,343			
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等 (6)	区分	職員数 (人)	給料月額 (百円)	1人あたり平均給料月額(百円)		財政調整基金	3,865,194	4,056,741			
	市区町村長	1	9,260		一般職員	647	1,962,998	3,034		減債基金	787,538	787,343			
	副市区町村長	1	7,540		うち消防職員	112	321,104	2,867		その他特定目的基金	5,312,378	5,208,383			
	教育長	1	6,700		うち技能労務職員	41	117,342	2,862							
	議会議長	1	5,150		教育公務員	9	31,048	3,450							
	議会副議長	1	4,560		臨時職員	-	-	-							
	議会議員	20	4,270		合計	656	1,994,046	3,040							
ラスバイレス指数						94.6									
一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 団体名	(3)					
(1) 一般会計		(2) 国民健康保険事業		(5) 水道事業会計		(8) 富山県市町村管理組合(一般会計)		(13) (公財)射水市体育協会							
		(3) 介護保険事業		(6) 病院事業会計		(9) 富山県市町村総合事務組合(一般会計)		(14) 射水市土地開発公社							
		(4) 後期高齢者医療事業		(7) 下水道事業会計		(10) 庄川水害予防組合(一般会計)		(15) (一財)射水市公園等管理業務公社							
						(11) 富山県後期高齢者医療広域連合(一般会計)		(16) (公財)射水市絵本文化振興財団							
						(12) 富山県後期高齢者医療広域連合(特別会計)		(17) (公財)射水市文化振興財団							
								(18) (公財)とやま国際センター							
								(19) (公財)伏木富山港・海王丸財団							
								(20) 万葉線(株)							
								(21) (福)小杉福祉会							

(注釈) 1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に 印を付与している。
4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位 千円・%)				地方税の状況(単位 千円・%)				歳出の状況(単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
地方税	13,650,750	30.2	13,650,750	57.2	普通税	13,627,253	99.8	624,753	議会費	285,997	0.7	-	285,997
地方譲与税	361,838	0.8	361,838	1.5	法定普通税	13,627,253	99.8	624,753	総務費	9,995,428	22.8	4,861,019	4,577,361
利子割交付金	14,450	0.0	14,450	0.1	市町村民税	5,681,881	41.6	154,302	民生費	12,344,786	28.2	709,702	6,403,058
配当割交付金	51,567	0.1	51,567	0.2	個人均等割	169,204	1.2	-	衛生費	2,899,227	6.6	34,629	2,561,705
株式等譲渡所得割交付金	25,797	0.1	25,797	0.1	所得割	4,458,777	32.7	-	労働費	86,434	0.2	-	3,834
地方消費税交付金	1,623,657	3.6	1,623,657	6.8	法人均等割	277,096	2.0	-	農林水産業費	967,027	2.2	137,160	611,327
ゴルフ場利用税交付金	50,530	0.1	50,530	0.2	法人税割	776,804	5.7	154,302	商工費	1,308,959	3.0	14,250	299,916
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	7,105,464	52.1	470,451	土木費	5,612,434	12.8	2,079,584	4,070,488
自動車取得税交付金	71,090	0.2	71,090	0.3	うち純固定資産税	7,067,145	51.8	470,451	消防費	1,261,842	2.9	312,996	945,180
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	246,894	1.8	-	教育費	2,833,433	6.5	399,721	2,298,626
地方特例交付金	55,259	0.1	55,259	0.2	市町村たばこ税	593,014	4.3	-	災害復旧費	-	-	-	-
地方交付税	9,135,049	20.2	7,846,552	32.9	鉱産税	-	-	-	公債費	6,237,522	14.2	-	6,167,714
普通交付税	7,846,552	17.3	7,846,552	32.9	特別土地保有税	-	-	-	諸支出金	-	-	-	-
特別交付税	1,288,497	2.8	-	-	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	23,497	0.2	-	歳出合計	43,833,089	100.0	8,549,061	28,225,206
(一般財源計)	25,039,987	55.3	23,751,490	99.6	法定目的税	23,497	0.2	-					
交通安全対策特別交付金	14,531	0.0	14,531	0.1	入湯税	23,497	0.2	-					
分担金・負担金	406,526	0.9	-	-	事業所税	-	-	-					
使用料	437,911	1.0	42,553	0.2	都市計画税	-	-	-					
手数料	313,657	0.7	100	0.0	水利地益税等	-	-	-					
国庫支出金	3,750,213	8.3	-	-	法定外目的税	-	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-					
都道府県支出金	2,378,618	5.3	-	-	合計	13,650,750	100.0	624,753					
財産収入	816,837	1.8	16,370	0.1									
寄附金	307,224	0.7	-	-									
繰入金	1,392,488	3.1	-	-									
繰越金	1,771,136	3.9	-	-									
諸収入	1,310,079	2.9	32,431	0.1									
地方債	7,306,700	16.1	-	-									
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-									
うち臨時財政対策債	1,474,700	3.3	-	-									
歳入合計	45,245,907	100.0	23,857,475	100.0									

区分	平成28年度	平成27年度
徴収率 現・計	合計	99.4 96.5 99.3 95.9
(%)	市町村民税	99.3 96.6 99.2 96.5
	純固定資産税	99.4 96.2 99.3 95.1

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	5,682,681	実質収支	121,265
下水道	2,181,360	再差引収支	51,915
病院	615,136	加入世帯数(世帯)	11,441
上水道	20,356	被保険者数(人)	18,634
工業用水道	-	被保険者	88
国民健康保険	452,453	1人当り	97
その他	2,413,376	保険税(料)収入額	324
		国庫支出金	
		保険給付費	

区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	18,080,873	41.2	13,141,853	12,197,529	48.2
人件費	5,049,277	11.5	4,653,309	4,553,300	18.0
うち職員給	3,397,857	7.8	3,014,783	-	-
扶助費	6,794,074	15.5	2,320,830	2,105,274	8.3
公債費	6,237,522	14.2	6,167,714	5,538,955	21.9
元利償還金	6,236,384	14.2	6,166,576	5,537,817	21.9
内 うち元金	5,661,047	12.9	5,591,239	4,962,480	19.6
うち利子	575,337	1.3	575,337	575,337	2.3
一時借入金利子	1,138	0.0	1,138	1,138	0.0
その他の経費	17,203,155	39.2	13,761,925	10,154,657	40.1
物件費	6,238,545	14.2	5,342,935	4,036,777	15.9
維持補修費	712,671	1.6	681,975	362,628	1.4
補助費等	4,483,348	10.2	3,673,019	3,337,499	13.2
うち一部事務組合負担金	24,837	0.1	24,837	24,753	0.1
繰出金	2,865,829	6.5	2,425,706	2,414,938	9.5
積立金	1,305,131	3.0	1,025,228	-	-
投資・出資金・貸付金	1,597,631	3.6	613,062	2,815	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	8,549,061	19.5	1,321,428	-	-
うち人件費	233,682	0.5	233,682	-	-
普通建設事業費	8,549,061	19.5	1,321,428	-	-
うち補助	1,156,602	2.6	151,535	-	-
うち単独	7,236,603	16.5	1,078,837	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	43,833,089	100.0	28,225,206	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成28年度 富山県射水市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	45,246	43,833	1,413	983	875	61,314	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298</							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成28年度

富山県射水市

人口	93,934	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	91,891	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	109.43	km ²	実質公債費比率	10.7	%
歳入総額	45,245,907	千円	将来負担比率	102.6	%
歳出総額	43,833,089	千円	市町村類型	H24 - 2 H25 - 2 H26 - 2	
実質収支	982,885	千円	(年度毎)	H27 - 2 H28 - 3	
標準財政規模	24,734,684	千円			
地方債現在高	61,314,051	千円			



市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

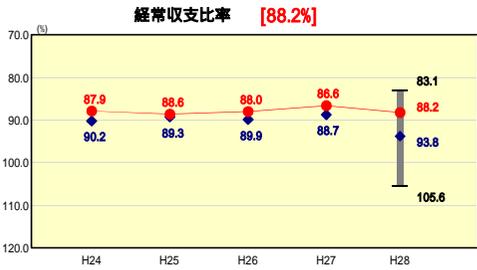
財政力



財政力指数の分析欄

北陸新幹線等による大配分資産や景気回復に伴う企業の設備投資の増により、固定資産税が大幅増となるなど、市税全般で増収となっている。
 一方で、高齢化による社会保障関係費(扶助費等)の増加に加え、統合庁舎・防災行政無線整備による投資的経費と公債費が増加しており、財政力指数は低下傾向で推移している。
 市税の徴収強化や使用料・手数料に係る受益者負担割合の見直しによる歳入確保に努めるとともに、定員適正化計画の推進による職員数の削減、事務事業等の整理合理化、公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合・長寿命化、必要性や効果を十分に検証した投資的経費の執行など、徹底した行政改革を推進し、健全な財政運営を推進する。

財政構造の弾力性



経常収支比率の分析欄

歳出では、定員適正化により人件費は減少したが、合併後に実施した事業に伴う公債費が増加し、対前年度比増となった。一方、歳入では、地方消費税交付金、臨時財政対策債が減少したことにより、経常収支比率は対前年度比増となった。
 定員適正化計画の推進により人件費は減少傾向にあるものの、再任用制度により、今後は大幅な人件費の減少は見込めない状況である。加えて、扶助費や公債費の増加により、今後も義務的経費が高い水準で推移していくものと予想されることから、事務事業の適正化や市債の繰上償還による後年度の公債費負担の軽減を図ることはもとより、公共施設等総合管理計画を踏まえ、公共施設の統廃合・長寿命化によるトータルコストの抑制、使用料・手数料に係る受益者負担割合の見直しなど、これまで以上に行政改革を推進していく。

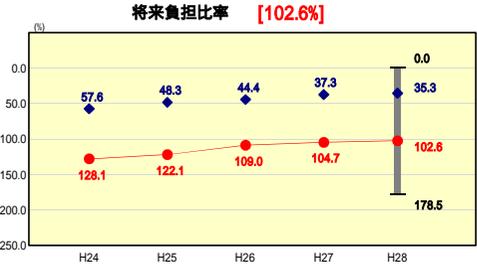
人件費・物件費等の状況



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費は、定員適正化計画の推進による人員削減により減となった。物件費は、統合庁舎完成に伴う移転費用や、ふるさと納税件数増加による返礼品発送業務委託の影響で大幅増となった。
 今後も引き続き、職員数の適正化、事務事業評価制度に基づく事業の見直し、指定管理者制度の積極的な導入等を進め、人件費・物件費等の縮減に努める。

将来負担の状況



将来負担比率の分析欄

類似団体と比較して地方債残高が大きく、また、財政調整基金や減債基金などの充当可能基金残高が少ない(充当可能基金とみなされたい合併地域振興基金を約37億円保有)ため、将来負担比率は大きくなっているものの、ここ数年は、緊急防災・減災事業債、合併特例債等の交付税措置率の高い起債の活用や、財政調整基金をはじめとした充当可能財源の増加により、指標が大幅に改善してきている。また今後は、合併地域振興基金の活用により、財政調整基金取り崩しの抑制を図ることから、将来負担比率の大幅な上昇には繋がらないものと考える。
 引き続き、地方債の繰上償還や合併特例債等の有利な起債の活用、充当可能基金の積み増し等により、今後も将来の市民負担が少しでも軽減するよう、財政の健全化に努める。

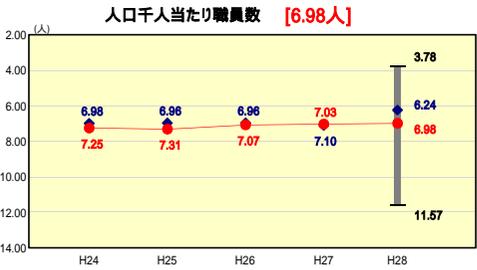
公債費負担の状況



実質公債費比率の分析欄

市町村合併前後の期間に集中した大型事業の償還等により、類似団体平均を上回っているが、近年の借入起債のほとんどが合併特例債、緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債といった交付税措置率が極めて高いものに限定されていることから、指数は大幅に改善してきている。
 今後、斎場整備などの大型事業に伴う償還額の増が見込まれるが、中長期財政計画に基づき新規起債の抑制を図るとともに、引き続き、計画的な繰上償還を実施し、実質公債費比率の上昇抑制に努める。

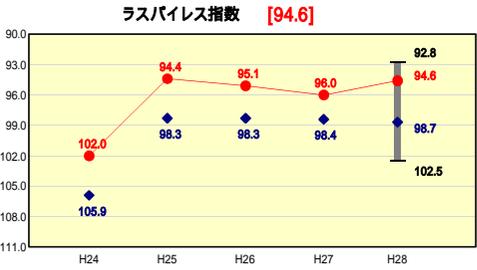
定員管理の状況



人口千人当たり職員数の分析欄

定員適正化計画に基づき、定年退職者の補充抑制や保育園の民営化推進等により、職員数の適正化に取り組んできた結果、大幅な削減となっているものの、類似団体の平均を上回っている。
 今後も定員適正化計画や行政改革プランに基づき、事業の見直しによる効率化や民間活力の活用等、適切な定員管理に努めていく。

給与水準(国との比較)



ラスパイレス指数の分析欄

全国市平均及び類似団体平均を大幅に下回っているのは、これまで職務・職責に応じた適切な給与支給、職員数の適正化、人件費の縮減に努めたことによるものである。
 今後とも、職務・職責や人事評価に応じた給与制度の適正な運用に努めていく。

(4) -1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

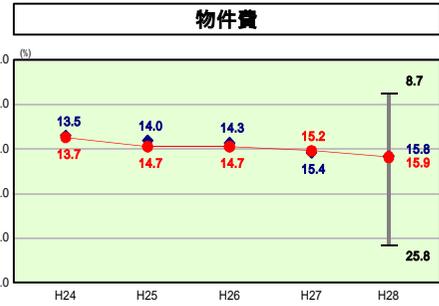
富山県射水市

経常収支比率の分析

人口	93,934	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	91,891	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	109.43	km ²	実質公債費比率	10.7	%
歳入総額	45,245,907	千円	将来負担比率	102.6	%
歳出総額	43,833,089	千円			
実質収支	982,886	千円	市町村類型	H24 - 2 H25 - 2 H26 - 2 H27 - 2	
標準財政規模	24,734,684	千円	(年度)	H27 - 2 H28 - 3	
地方債現在高	61,314,051	千円			

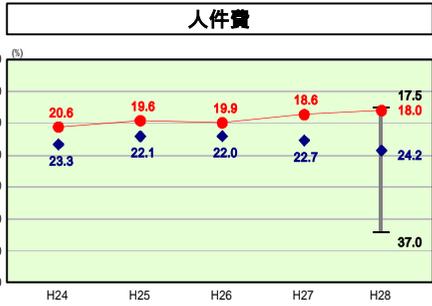


市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



物件費の分析

類似団体平均とほぼ同水準で推移している。市町村合併等の影響もあり、類似施設が重複していることから施設の維持管理費が高止まりしている。平成28年度は、統合庁舎完成に伴う移転費用や、ふるさと納税件数増加による返礼品発送業務委託の影響で、前年と比較し増加している。今後も引き続き、公共施設等総合管理計画に基づく類似公共施設の統廃合、施設機能の複合化を進めるとともに、事務事業評価制度に基づ



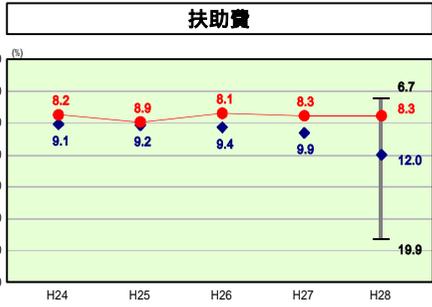
人件費の分析

類似団体平均を6.2ポイント下回っている。今後も引き続き、定員適正化計画の推進、行財政改革への取組を通じて人件費の抑制に努める。



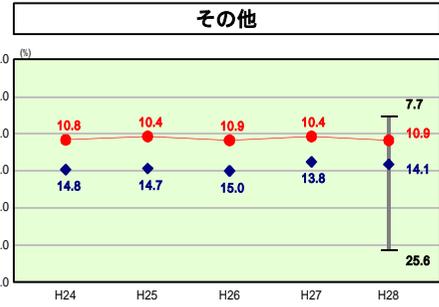
補助費等の分析

類似団体平均を1.5ポイント上回っているが、公営企業会計への繰出金による影響が大きい。今後も、独立採算の原則に基づき、繰出金の抑制に努める。市単独の各種補助金については、交付する事業の目的や費用対効果、さらには、経費負担のあり方を検証し、見直しや廃止に努める。



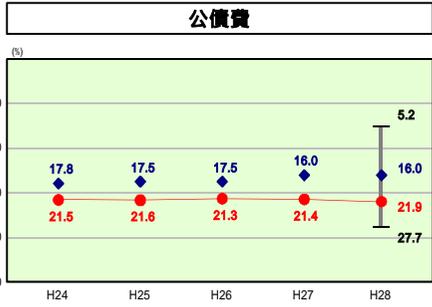
扶助費の分析

類似団体平均を3.7ポイント下回っている。高齢者福祉や自立支援給付費等の経費が増加しており、今後も社会保障関係費の増加が見込まれることから、資格審査等の適正化や生活困窮者の自立支援等により、社会保障関係費の増大を抑制するとともに、市単独事業の見直し及び受益者負担の適正化等により財源の確保に努める。



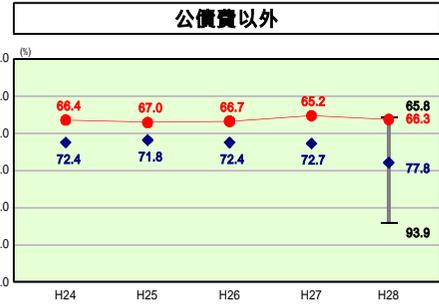
その他の分析

類似団体平均を3.2ポイント下回っている。後期高齢医療事業特別会計と介護保険事業特別会計の各繰出金が増加しており、今後も高齢化の進行の影響により、更なる増加が見込まれることから、健康寿命延伸につながる施策等に積極的に取り組むなど、一般会計繰出金の圧縮につながるよう努める。96



公債費の分析

類似団体平均を5.9ポイント上回っている。小中学校等公共施設の耐震化といった大型整備事業の実施、市債の繰上償還等の影響により、類似団体と比較し歳出が大きくなっているが、近年の借入起債のほとんどが合併特例債、緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債といった交付税措置が高いものに限定されていることから、実質的な財政負担は少ない。今後も、計画的な繰上償還の実施を行うとともに、交付税措置の高い有利な起債の活用にも努め、実質負担の更なる抑制に努める。



公債費以外の分析

人件費の削減等の努力により、類似団体平均を11.5ポイントと大きく下回っている。今後も行財政改革の推進による財政運営のさらなる効率化を図り、健全な財政運営に努める。

(4) -2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

富山県射水市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	5,049,277	53,753	57,713	6.9
賃金(物件費)	362,913	3,863	3,737	3.4
一部事務組合負担金(補助費等)	18,364	195	6,346	96.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	800	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	1	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	2,571	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	233,682	2,488	1,342	85.4
退職金	623,567	6,638	4,975	33.4
合計	5,040,669	53,662	67,535	20.5

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.98	6.24	0.74
ラスパイレシ指数	94.6	98.7	4.1

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

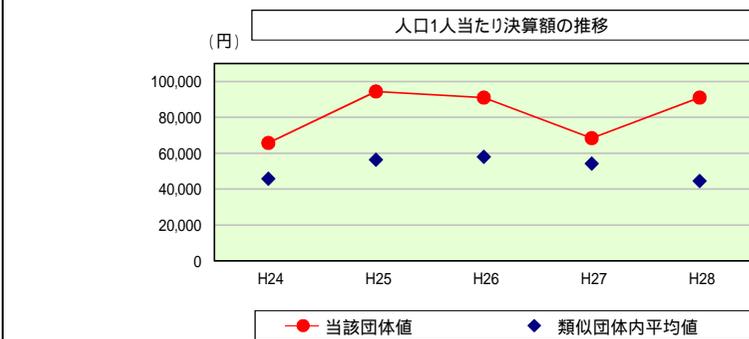


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	5,607,625	59,698	35,267	69.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	1	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	-	-	49	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,953,844	20,800	9,709	114.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	2,367	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	101,753	1,083	1,205	10.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	8	0	3	100.0
特定財源の額	69,808	743	6,690	88.9
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	5,535,556	58,930	29,386	100.5
合計	2,057,866	21,908	12,524	74.9

平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H24	6,248,894	65,649	32.3	45,761	4.9	37.2
うち単独分	3,232,056	33,955	29.1	24,777	9.4	19.7
H25	8,963,290	94,369	43.7	56,255	22.9	20.8
うち単独分	3,805,325	40,064	18.0	26,957	8.8	9.2
H26	8,622,027	91,045	3.5	57,944	3.0	6.5
うち単独分	4,356,617	46,004	14.8	29,326	8.8	6.0
H27	6,443,061	68,324	25.0	54,227	6.4	18.6
うち単独分	5,029,486	53,334	15.9	29,694	1.3	14.6
H28	8,549,061	91,011	33.2	44,504	17.9	51.1
うち単独分	7,236,603	77,039	44.4	25,876	12.9	57.3
過去5年間平均	7,765,267	82,080	16.1	51,738	0.7	16.8
うち単独分	4,732,017	50,079	24.4	27,326	3.1	21.3

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

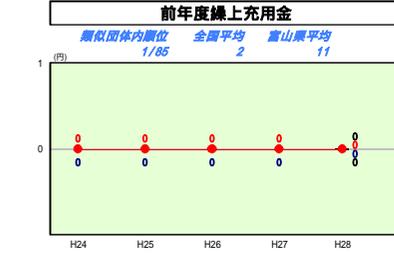
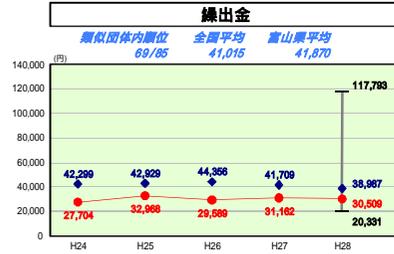
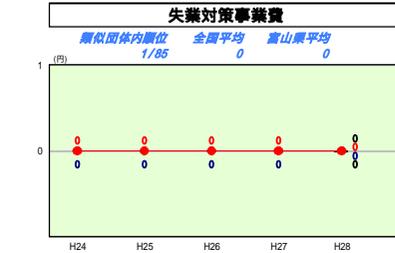
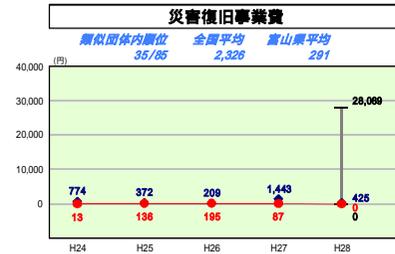
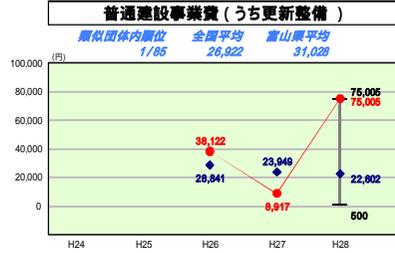
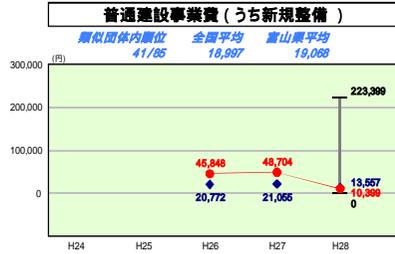
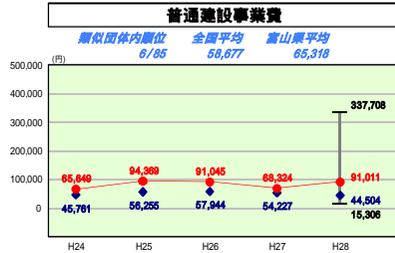
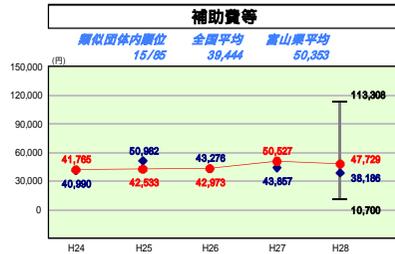
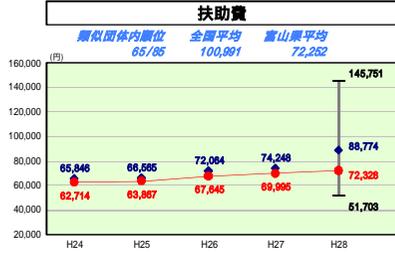
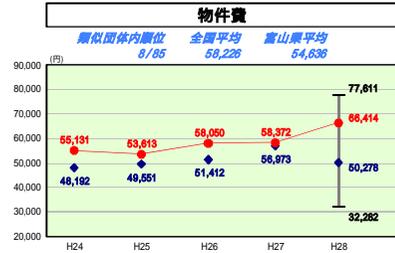
平成28年度

富山県射水市

人口	99,934	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	91,891	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	109.43	km ²	実質公債費比率	10.7	%
歳入総額	45,245,907	千円	将来負担比率	102.6	%
歳出総額	43,839,088	千円	市町村類型	H24 - 2 H25 - 2 H26 - 2	
実質収支	982,896	千円	(年度毎)	H27 - 2 H28 - 3	
標準財政規模	24,734,884	千円			
地方債残高	61,314,051	千円			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┆ 類似団体内の最大値及び最小値

市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と呼ぶ。
 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析概

歳出決算総額は、住民一人当たり466,637円となっている。主な構成項目の一つである人件費は、住民一人当たり53,753円となっており、平成24年度から減縮している。定員適正化計画や行政改革の推進など、これまでの取組の成果が表れていると言える。
 扶助費は住民一人当たり97,328円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが低い状況となっているが、年々増加傾向にある。これは、高齢者福祉や自立支援給付費等の障がい者福祉、子ども・子育てに係る経費の増による影響が大きく、今後も社会保障関係費の増加が見込まれる。
 物件費は住民一人当たり96,414円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これは、類似施設が重複し施設の維持管理費が高止まりしていることが主な要因となっているためであり、今後は、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の統廃合等により維持管理費を減縮していく。
 普通建設事業費は住民一人当たり91,011円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これは、庁舎整備事業や防災行政無線デジタル化整備事業、大島中央公園整備事業など大型整備事業による影響が大きい。
 公債費は住民一人当たり66,403円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが非常に高い状況となっている。これは、過去に行った小中学校等公共施設の耐震化といった大型整備事業の影響が大きいと、近年の借入起債のほとんどが合併特例債、緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債といった交付税措置率の高いものに限定されていることから、実質的な財政負担は少ない。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

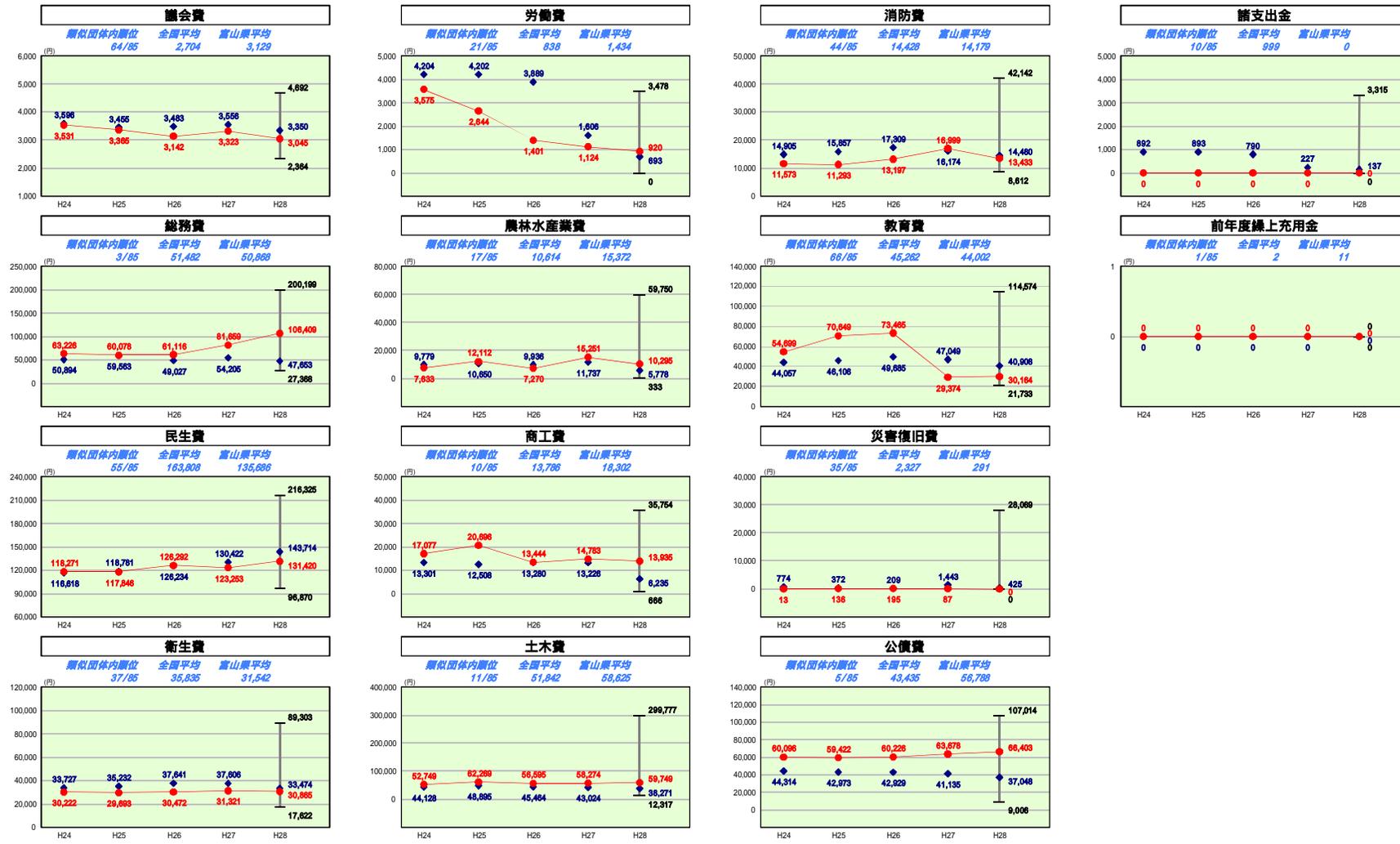
平成28年度

富山県射水市

人口	99,934	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	91,891	人(H29.1.1現在)	連続実質赤字比率	-	%
面積	109.43	km ²	実質公債費比率	10.7	%
歳入総額	45,245,907	千円	将来負担比率	102.6	%
歳出総額	43,839,088	千円	市町村間差	H24 -2 H25 -2 H26 -2 H27 -2 H28 -2	
歳入取支	982,896	千円	(年度毎)	H27 -2 H28 -3	
標準財政規模	24,734,884	千円			
地方債残高	61,314,051	千円			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┆ 類似団体内の最大値及び最小値

市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



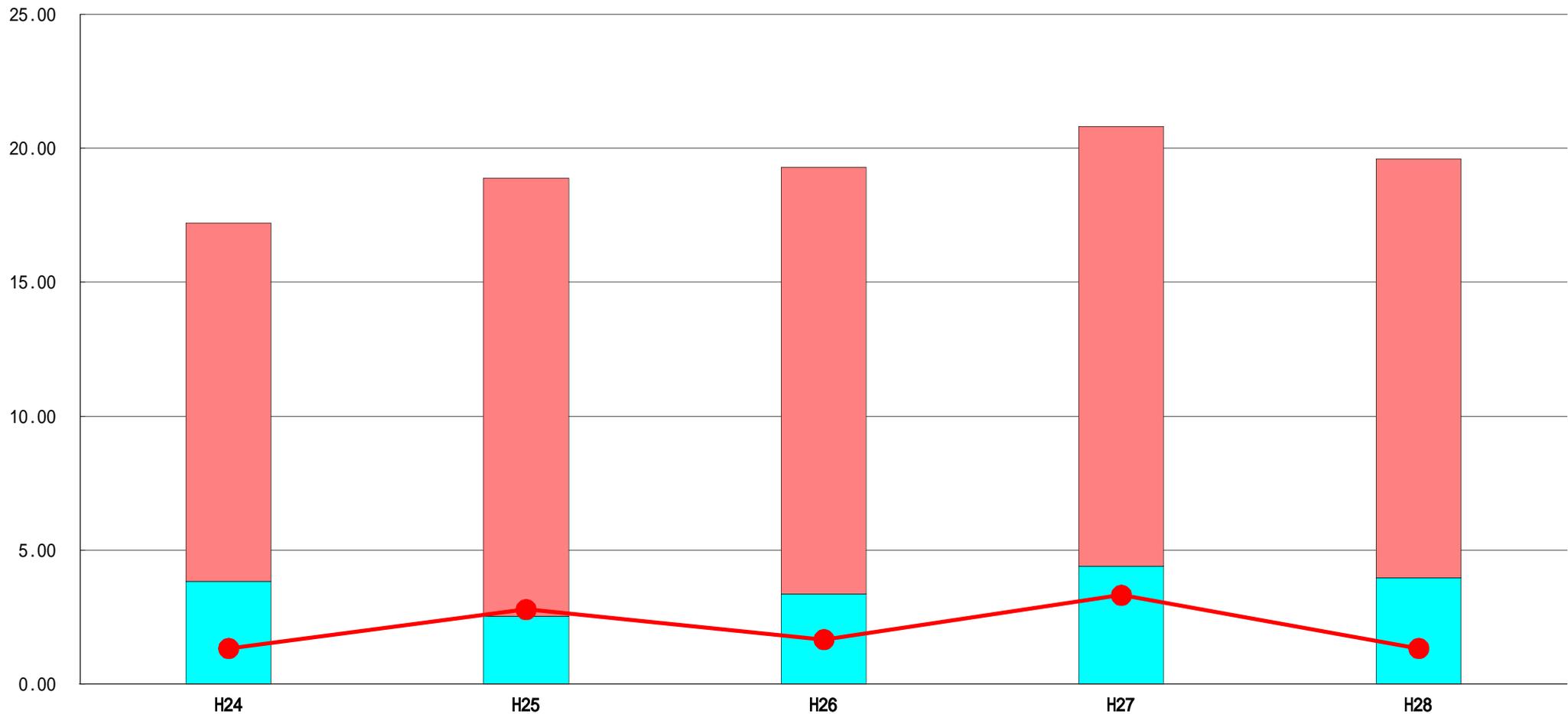
目的別歳出の分析概
 総務費は、住民一人当たり106,409円となっており、類似団体と比較して高い水準で推移している。これは、本市が災害に強い都市基盤を整備するため、庁舎整備事業や防災行政無線デジタル化整備事業を重点的に実施してきたことが主な要因である。
 民生費は、住民一人当たり131,420円となっており増加傾向にある。これは、障害者自立支援給付費(社会福祉費)、後期高齢者医療事業と介護保険事業への繰入金(老人福祉費)、子ども子育て関連経費(児童福祉費)が増加していることが要因となっている。
 教育費は、住民一人当たり30,164円となっている。小中学校の耐震化事業を短期間で集中的に取り組み、平成26年度に終了した。そのため、前年度から事業費が大幅に減少している。
 公債費は、住民一人当たり66,403円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが非常に高い状況となっている。これは、過去に行った小中学校等公共施設の耐震化といった大型整備事業の影響が大きい。近年の借入起債のほとんどが合併特例債、緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債といった交付税措置率の高いものに限られていることから、実質的な財政負担は少ない。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

平成28年度

富山県射水市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28
 財政調整基金残高		13.38	16.35	15.93	16.40	15.63
 実質収支額		3.83	2.53	3.36	4.41	3.97
 実質単年度収支		1.33	2.79	1.66	3.33	1.33

分析欄

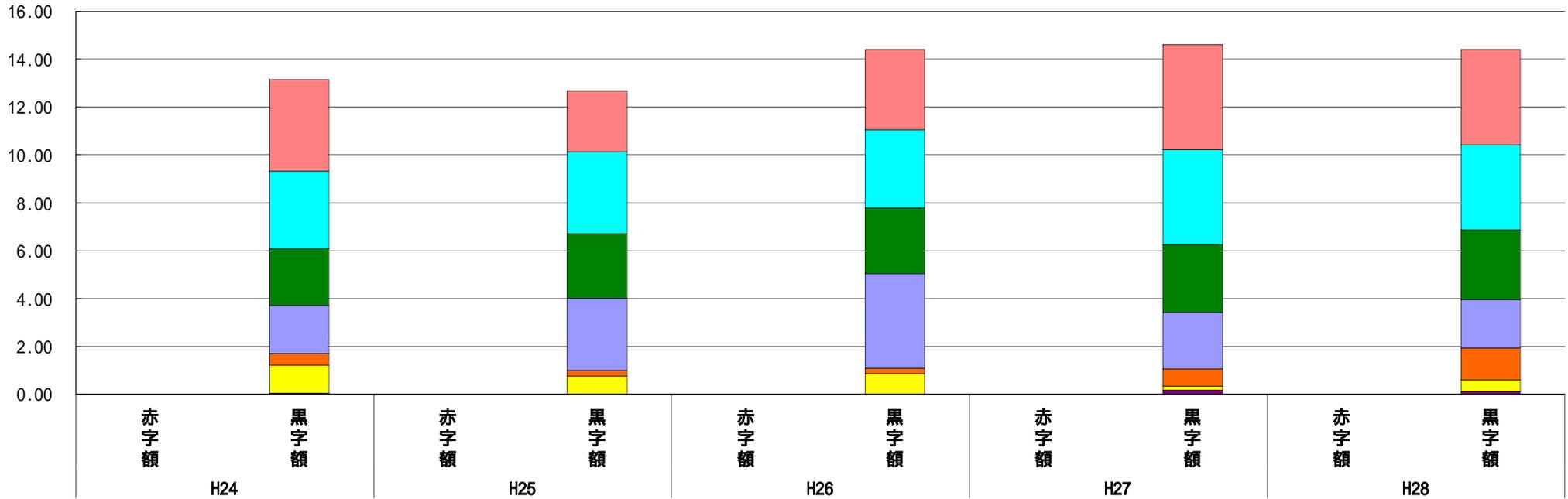
市税等の歳入の上振れや、経常的な歳出削減の結果等により、実質収支は継続的に黒字を確保している。
 財政調整基金については、除雪費用の財源として活用したため前年度比で減少している。
 今後も財政規律を堅持した健全な財政運営に努める。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成28年度

富山県射水市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H24	H25	H26	H27	H28
一般会計		3.82	2.53	3.36	4.40	3.97
水道事業会計		3.26	3.44	3.26	3.97	3.55
下水道事業会計		2.36	2.67	2.74	2.83	2.92
病院事業会計		2.00	3.03	3.95	2.35	2.01
介護保険事業		0.50	0.25	0.22	0.71	1.34
国民健康保険事業		1.17	0.75	0.86	0.18	0.49
後期高齢者医療事業		0.04	0.00	0.01	0.17	0.12
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.00	0.00	0.00	0.00	-

分析欄

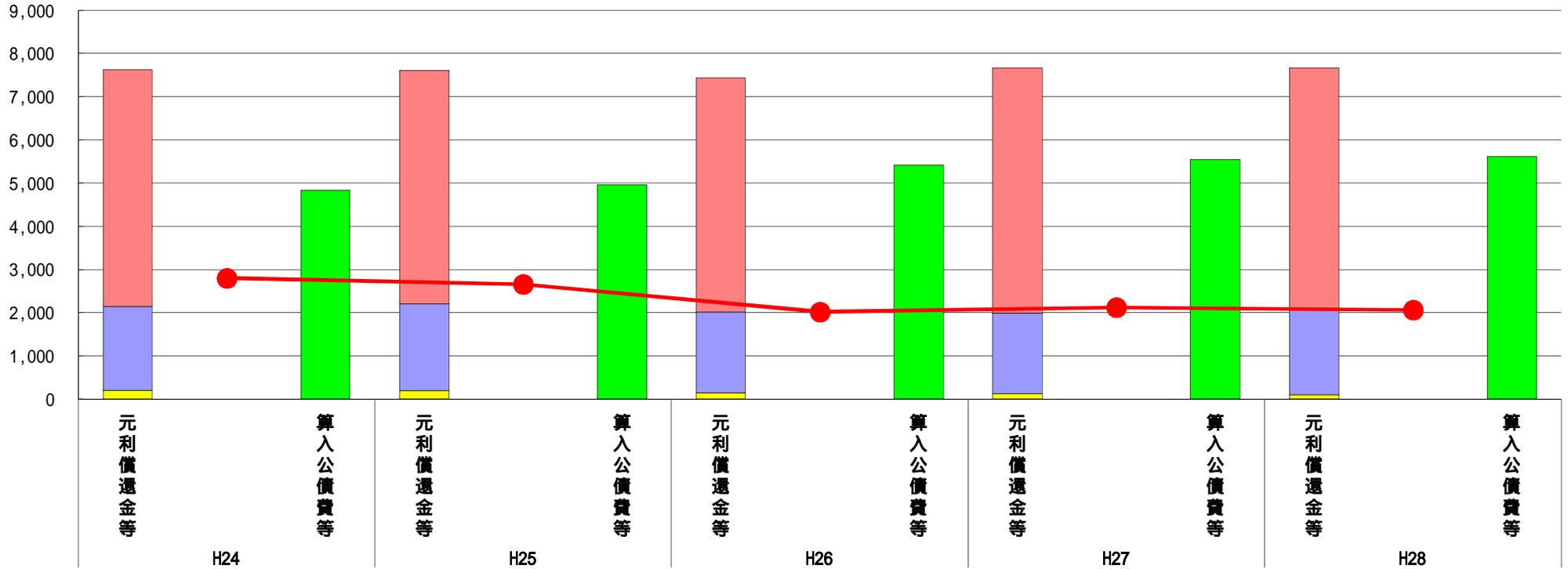
全会計において実質収支は黒字であり、健全性が保たれている。
 今後も各会計の独立採算制の原則に立ちながら、会計全体を通じてバランスのとれた財政運営に努める。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

富山県射水市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等(A)	元利償還金		5,480	5,415	5,418	5,668	5,608
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,934	2,006	1,864	1,872	1,954
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		209	189	151	120	102
	一時借入金の利子		0	0	0	-	0
算入公債費等(B)	算入公債費等		4,825	4,952	5,416	5,544	5,605
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,798	2,658	2,017	2,116	2,059

分析欄

元利償還金については、合併特例債を活用した大型事業の増、臨時財政対策債償還金の増により増加傾向にあるが、近年の借入起債のほとんどが合併特例債、緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債といった交付税措置率が極めて高いものに限られていることから結果的に実質公債費比率の分子は、減少傾向にある。

今後とも、事業の重要性や緊急性を勘案しながら普通建設事業等に係る新たな借入の抑制に努めるとともに、計画的な市債の繰上償還の実施により実質公債費比率の上昇抑制に努める。

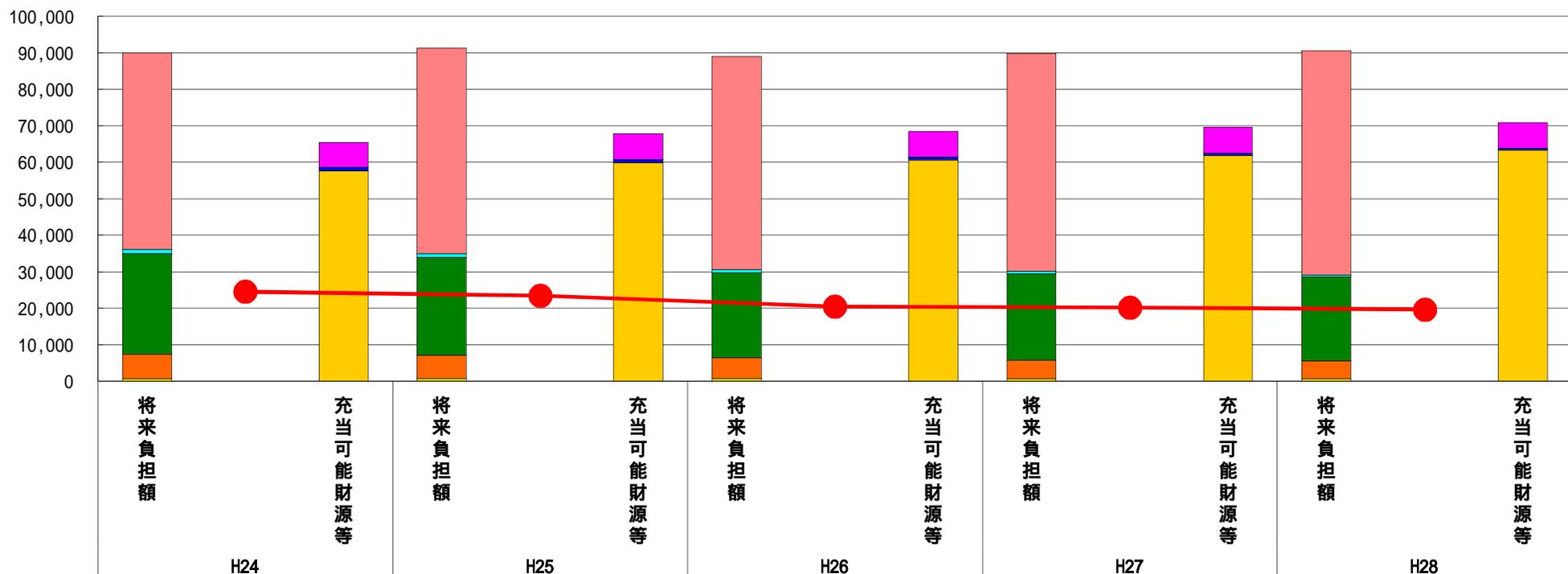
平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

富山県射水市

（百万円）



（百万円）

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		53,894	56,322	58,453	59,668	61,314
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,136	957	814	701	605
	公営企業債等繰入見込額		27,496	26,854	23,229	23,683	23,059
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		6,753	6,363	5,697	5,135	4,861
	設立法人等の負債額等負担見込額		693	810	797	577	681
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		6,829	7,004	7,049	7,034	6,994
	充当可能特定歳入		1,021	913	809	642	509
(A) - (B)	将来負担比率の分子		24,534	23,470	20,537	20,198	19,701

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高は、合併後の大型事業等の実施により年々増加している。公営企業債等繰入見込額については、病院事業は診療棟整備事業に伴い増加したものの、水道事業や下水道事業は大型事業の償還終了に伴い減少している。

充当可能財源等については、財政調整基金等の積立により着実に増加している。

合併特例債、緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債といった交付税措置率が極めて高い起債の活用、起債の計画的な繰上償還等により、将来負担比率の分子は年々減少しており、今後も遞減していく見通しである。

定員適正化計画等の行財政改革を推進し、さらに健全な財政基盤の確立に努める。

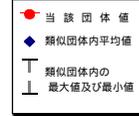
平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 市町村公会計指標分析 / 財政指標組合せ分析表

平成28年度

富山県射水市

人口	93,934	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	91,891	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	109.43	km ²	実質公債費比率	10.7	%
歳入総額	45,245,907	千円	将来負担比率	102.6	%
歳出総額	43,833,089	千円	市町村類型	H24 -2 H25 -2 H26 -2	
実質収支	982,885	千円	(年度毎)	H27 -2 H28 -3	
標準財政規模	24,734,684	千円			
地方債現在高	61,314,051	千円			

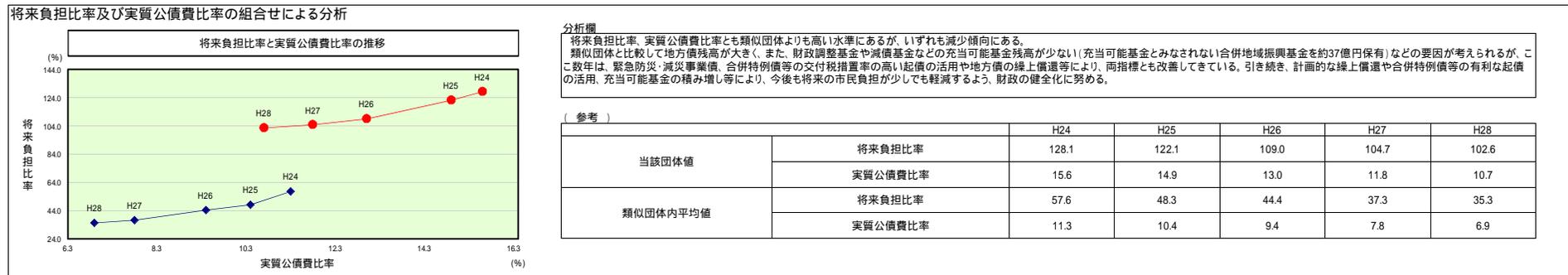
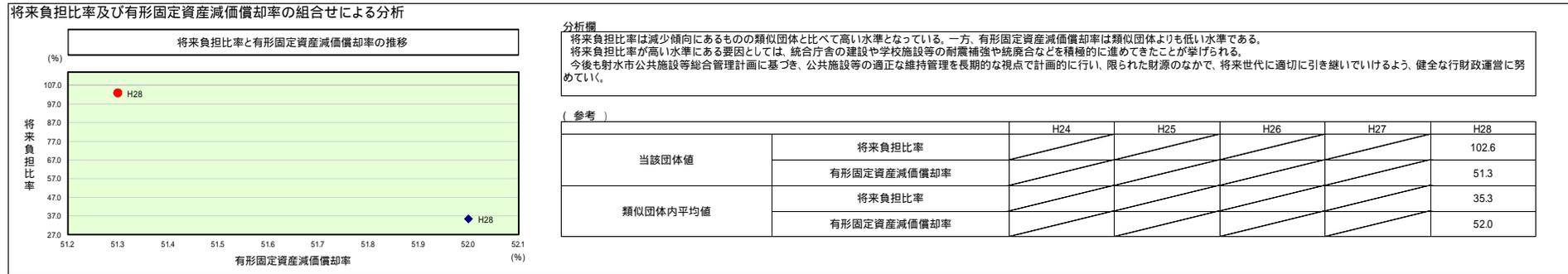
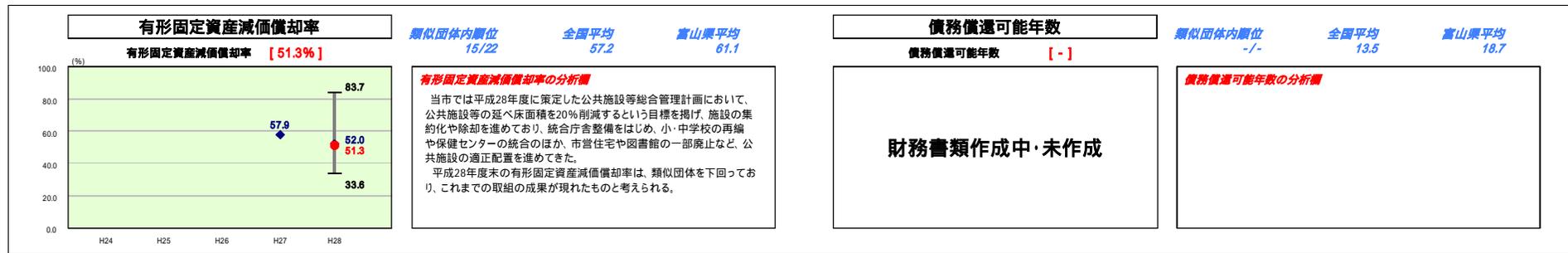


有形固定資産減価償却率は平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、債務償還可能年数は平成30年1月1日時点で統一な基準による財務書類を作成済みの団体について、数値を記載している。

市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。

類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



(12)-1市町村施設類型別ストック情報分析表

平成28年度

富山県射水市

人口	80,934人 (H29.1.1現在)	実数	数字	比率	-	%
うち日本人	91,991人 (H29.1.1現在)	高齢者	数字	比率	-	%
面積	109.43km ²	高齢者	数字	比率	10.7	%
農産物産出総額	45,245,907千円	将来負担	比率		102.6	%
農産物産出総額	49,893,089千円	市町村間	差		H24	-2
農産物産出総額	982,886千円	(年度毎)			H25	-2
標準財政規模	24,734,884千円				H26	-3
地方債残高	61,314,061千円					



平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を36のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と書う。
 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析
 上記施設の中で、児童館の有形固定資産減価償却率が類似団体と比較して特になくなっており、逆に低くなっているのは学校施設である。
 児童館については、建築後30年を経過した施設で利用年数を経過した施設で占められ有形固定資産減価償却率が高くなっており、コミュニティセンター整備時に機能を位置付けるなど、施設の再編に向け取り組む。
 学校施設については、大間山、大門の両小学校、新浜中学校が整備された状況である。しかし、小・中学校21校中14校は建築後30年を経過しており、ほとんどの施設で大規模改修が進んでいる状況ではあるが、今後児童生徒数の推移等を踏まえ、適正規模・適正配置を図る。

(12)-2市町村施設類型別ストック情報分析表

平成28年度

富山県射水市

人口	89,934人 (H29.1.1現在)	実収支率	-	%
うち日本人	91,891人 (H29.1.1現在)	高齢者率	-	%
面積	109.43km ²	実収支率	10.7	%
歳入総額	45,245,907千円	将来負担率	102.6	%
歳出総額	49,833,089千円	市町村間差	H24 -2 H25 -2 H26 -2	
歳入超過	982,886千円	(年度毎)	H27 -2 H28 -3	
標準財政規模	24,734,884千円			
地方債残高	61,314,061千円			

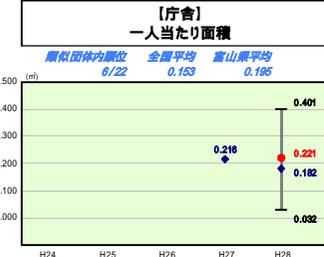
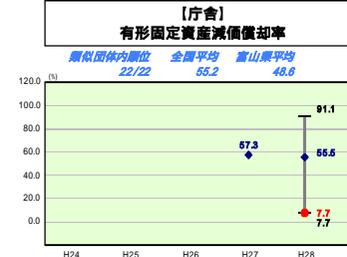
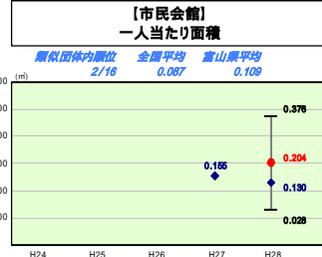
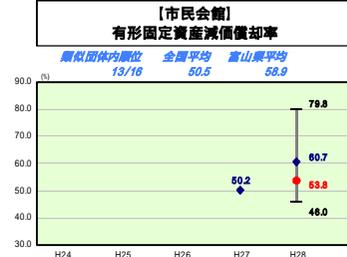
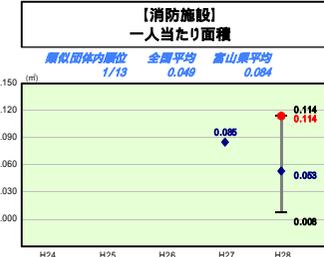
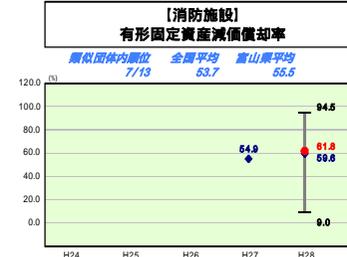
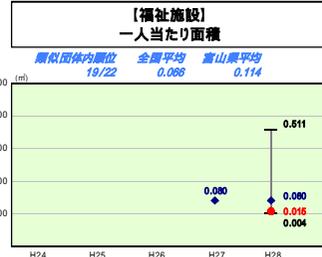
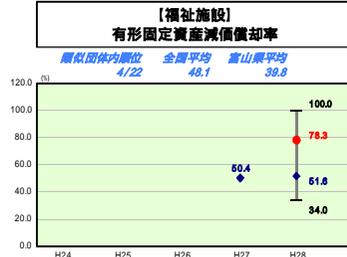
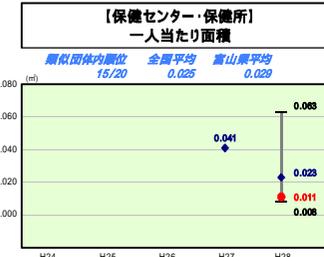
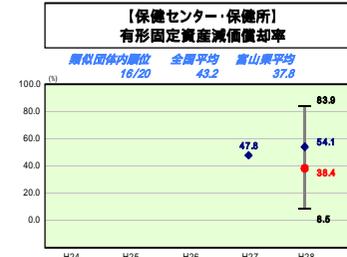
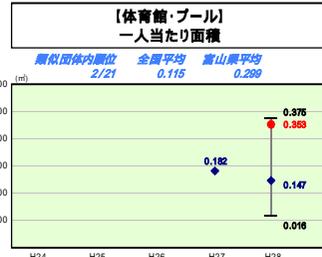
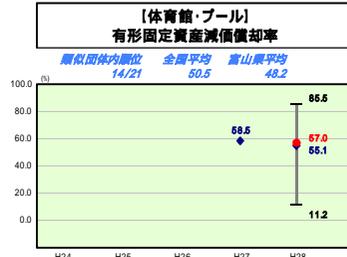
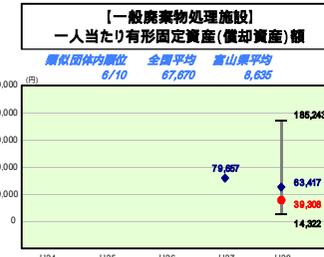
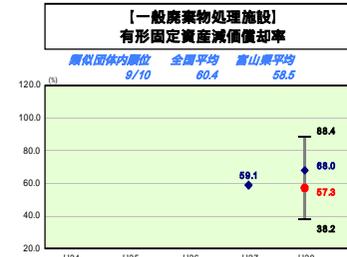
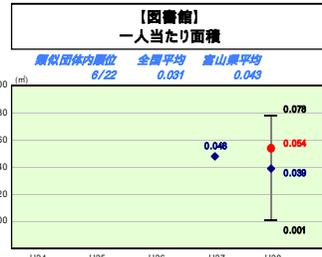
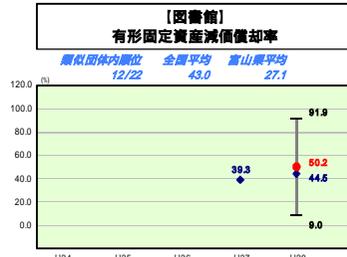


平成30年1月1日時点での固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。

市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を36のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と呼ぶ。

住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析

上記施設の中では、庁舎の有形固定資産減価償却率が類似団体と比較して低くなっている。これは、統合庁舎が平成28年度中に整備されたことによるものである。統合前の庁舎については、耐震性が確保されている大島(現大島分庁舎)、布目(現布目庁舎)、大門(現子ども子育て総合支援施設)の各庁舎は今後も活用し、耐震性が不足である新島、小杉、下の有形庁舎は取り壊す予定である。

また、一人当たりの面積で特に大きいのは体育館・プール、消防施設である。体育館・プールについては、小杉、大門総合、下村の各体育館が建築後30年以上経過しており、コスト面のほか利用状況や市民ニーズなどを分析するとともに施設の利用方法の見直しや機能集約の検討、利用者の分散方法などを整理し、使い勝手の良い拠点型施設への移行を目指す。消防施設については、新湊消防署東部出張所が建築後30年以上経過しており、庄西、片口、作道、七美、本江、池多、2の各消防団屯所の有形固定資産減価償却率が90%を超えているなど老朽化が著しい状況だが、市民の生命、身体、財産の保護に直結する施設であるため、劣化や不具合の早期発見に努め、ライフサイクルコストの縮減を図りながら、円滑な消防・防災活動が実施できるような施設の長寿命化を図ること現在の体制を維持する。